

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書（Web 公開用）

申請者（ふりがな）	時田 隆弘（ときた たかひろ）
所属・資格（※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載）	e-school 課程 健康福祉科学科 α コース レベル C
発表年月 または事業開催年月	2025年 5月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	第79回日本栄養・食料学会大会
発表者（※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること）	○ 時田 隆弘、蔡 月、丸亀 裕貴、矢野 敏史、原 太一
発表題目（※学会発表の場合のみ記載）	微細藻類が作用するオートファジー活性解析に基づく機能性評価
発表の概要と成果（抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。） 微細藻類は、天然由来の新たな食資源として注目されている。また、CO₂ 固定による酸素合成能や、放射性物質の吸着能から、カーボンニュートラルや SDGs などの諸課題解決にも貢献する有望な素材としても期待されている。オートファジー活性化による健康増進を対象とした研究は、微細藻類の種類も多様であることから、オートファジー制御の知見は限られている。そこで本研究では、微細藻類ライブラリーから、オートファジー活性に与える影響を解析することで、素材としての機能性を評価することを目的とした。 本学会大会において試料のスクリーニング結果を発表し、微細藻類の持つポテンシャルを示唆し、微細藻類の研究進化が社会に必要なことの一定の問題提起を行えたと考えている。	

※無断転載禁止